



ばんや ひろし
番屋 洋さんご夫妻
平成10年、千葉県からUターン

千葉県市川市から萩市にUターンされた番屋さんご夫妻。ご主人は東京で会社勤めを経て、不動産関係の事業を営まれていました。平成10年にまずは奥様が移住。会社の整理を済まされたご主人が2年後に移住されました。奥様自身は大阪のご出身ですが、萩が大好きで特に抵抗はなかったそうです。

奥さんはシルバー人材センターの手芸部で人形作りを学び、市内のホテルなどに出品されています。また、ご主人は「菊ヶ浜を日本一美しくする会」の班長や「萩城郭保存会」の事務局を務められるなど、ボランティア団体の一員として地域に貢献していらっしゃいます。

そんなご夫妻からUターンの先輩としてアドバイスを・・・。

「観光や盆正月の帰省とは違いますから、あとで後悔しないためにも、萩での生活をしっかりイメージしてから移住してください。萩での中高年の就職は困難です。中高年の持つ様々な能力や資格を活用できるような取組みを行政に期待しています。また、ご夫婦のいずれかが萩出身でない場合は、活動範囲を広げるためにも、しっかりとした目的を持って自分で道を切り開いていくことが必要です。」

定住者のみなさん、空き家情報バンクをご利用下さい！

萩市内に点在する現在使用されていない住宅等を貸家等として活用するため、所有者の了解を得て、空き家情報バンクに登録し、U・J・Iターン希望者の住まいとして情報提供を行います。定住支援ホームページからご覧いただけます。



中原さんの詳しいプロフィールや人力車、ギャラリー&ティールーム「俣宿・天十平」のことは、ホームページをご覧ください。
<http://www.haginet.ne.jp/users/kurumayado/>
なかはら しょうご
中原 省吾さんご夫妻
昭和58年、千葉県からUターン

萩城下町を走る人力車・・・。当サイトのトップページにも流れる人力車の中原省吾さん(47歳)。昭和58年千葉県市川市から萩市へUターンされ体験されたこと、Uターンされた奥様の万里さんとの出会い、そして20年余りの時間の中でのご自身と周囲の変化について語っていただきました。

20代初め、人力車との出会いがあり、人力車を走らせるんだったら萩しかないと思い、移住されたそうです。ご家族の反応はいかがだったのでしょうか。「反対だったと思います。どうして萩なのか、きちんと生計を立てられるのか、不安だったようです。」実際、観光客の少ない冬場は商売が成り立たず、冬場は実家に帰っていらしたこともあるそうです。

また、もともとあまり社交的でなかったため、人付き合いも限られていたそうですが、奥様との出会いにより随分変化しました。「妻がギャラリー&ティールームを始めたことにより人力車だけの世界では見えなかった世界が見えるようになりました。」見た目のぜいたくではなく、質の高いサービスをこころざすようになったとのこと。

「都会でないと手に入らないものもありますが、萩でしか手に入らないものも多くあります。」とりわけ、「海」そして「夕日」。人力車でも海に行くコースを設定されています。

これから、萩に移住される方へのメッセージを・・・。

「できることなら萩での生活を何ヶ月かでも体験していただきたい。単に住まいを手に入れるとか、職を決めたりだけじゃなく、人や自然を含めた周辺の環境を手に入れるつもりで暮らしてほしい。」

■定住支援ホームページ
<http://www.hagicity.com/teijyu/>

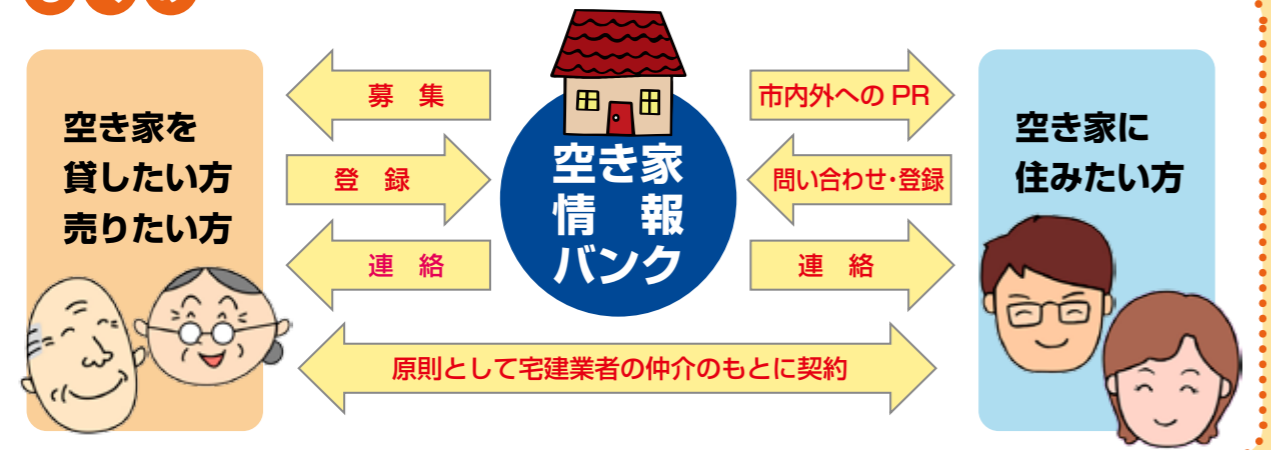
萩

来てみいね！

住んでみいね！



しくみ



萩ふるさとターン応援団
定住総合相談窓口

〒758-8555 山口県萩市大字江向510番地
萩市総合政策部企画課内
TEL 0838-25-3819 FAX 0838-26-3803
Eメール teijyu@city.hagi.yamaguchi.jp

城下町・萩でスローライフを楽しみませんか。

ごあいさつ



萩市長
野村 興児

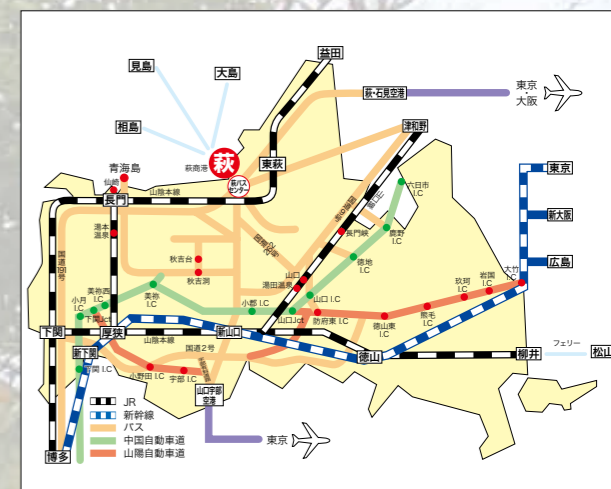
「萩暮らし」、
応援します。

萩は、江戸時代からの武家屋敷や町家などの歴史的景観が残されている詩情豊かな町です。市内には城下町のたたずまいが都市遺産として今日まで受け継がれています。わたしたちは、このような町並みを「萩まちじゅう博物館」として大切に、おもてなしの心をもって、皆さんをお迎えします。

萩市では、城下町でゆっくりと暮らしたい、自然に囲まれて心豊かに暮らしたいなど、「萩暮らし」を希望される方を応援するため定住総合相談窓口を設置いたしました。また、定住支援ホームページ「来てみいね、住んでみいね！萩ふるさとターン応援団」を開設するとともに「空き家情報バンク」を新たに設置し、住まいを中心とした生活情報を提供しています。

「萩暮らし」～穏やかに流れる萩の生活～を楽しんでみませんか。皆さんの「萩暮らし」を心より応援します。

萩市へのアクセス



- 中国自動車美祢ICより車で50分
- JR新山口駅より防長バスで70分、JRバスで80分
- 萩・石見空港よりバスで70分
- 山口宇部空港より乗合タクシーで1時間30分



瀬つきあじ

いきいきと

萩の歴史や文化とのふれあい、まちづくりを進める市民活動の拠点のひとつが萩博物館。「萩まちじゅう博物館」の原点がここにあります。また、萩焼をはじめとする芸術活動、大名行列や神楽舞など地域の伝統芸能の継承や多くの市民が参加するボランティア活動も盛んに行なわれています。萩のまちは市民の元気がまちじゅうにあふれています。



ボランティアガイド

萩焼体験



時代まつり
(草履舞)

萩魚まつり

萩焼まつり

道の駅/萩しーまーと

萩は豊富な歴史的遺産や自然を活かした日本有数の観光地です。主要産業である観光と農林水産業の連携のもと、特産品や魚などのブランド化が進められ、萩しーまーとを中心とした「道の駅」ネットワークからの情報発信により、元気な農漁村を創出しています。また、時代まつりや萩焼まつりなど、数多くのイベントが1年を通じて開催され、まちの賑わいを演出しています。

賑やかに

萩出身の人も、そうでない人も、
「萩暮らし」始めませんか！

心豊かに



萩城下町

ホルンフェルス

椿群生林

棚田

萩温泉

萩には江戸時代から形成された町並みが市民の手で大事に受け継がれています。また、豊かな自然に恵まれ、青い海、緑の山々が人々の心を癒してくれます。近年、七つの源泉による「萩温泉郷」も誕生しました。江戸時代からの町割りが残り、今も市民に住みこなされている萩、山・海の幸とともに私たちに心豊かな生活を約束してくれます。